

2021年

安全報告書



■ 山形県月山スキー場
特殊索道 月山ペアリフト

■ 山形県西川町民スキー場
特殊索道 西川町民スキー場リフト

月山観光開発株式会社

1. ご利用者の皆様へ

山形県月山スキー場及び西川町民スキー場をご愛顧賜りまして、誠に有難うございます。

2020年度は世界規模で新型コロナウイルスが発生し、日本も年初よりその感染拡大防止措置と3密を避けた新生活様式等の周知、ソーシャルディスタンス、テレワーク等々で様々な対策を打ち出しているにも係らず今なお猛威を振るっている状況にあります。改めて、感染拡大防止と経済の両立の難しさを痛感しております。感染された皆様方には改めてお見舞いと早期回復をご祈念申し上げ、また感染拡大防止にご助力しておられる宿泊・飲食関係者の皆様方、更には医療関係者の皆様方、その他関係する皆様方、大変なご苦労をされている事とお察し申し上げます。

弊社、月山リフトにおきましては昨年5月の制御装置トラブルを鑑み、以前より計画しておりました制御装置更新工事並びに油圧緊張装置更新工事を3月中に実施致し、4月3日のスキー場プレオープンに向け万全の体制でお客様をお迎えする準備を整えておりましたが、4月中旬以降の緊急事態宣言含む新型コロナウイルスによる影響で営業自粛等々あり、一番の繁忙期である4月、5月はまともな営業運転はできず、それ以降も8月は外出禁止令が発出されたりと収入、乗車人員共昨年より大幅な落込みとなり、大変厳しい結果となりました。

また、西川町民スキー場については12月から3月までの営業ですが、今年は全国的な暖冬・小雪の影響でシーズン中営業した日はわずか3日と、思う様な営業ができずこちらも大変残念な結果となりました。

「2021年 安全報告書」は、2020年1月より同年12月までの1年間の輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともにさらに広くご理解いただくために公表するものであります。皆様からの「お声」を安全輸送に役立てたく、ご意見・ご要望等を頂戴できれば幸いです。

月山観光開発株式会社
代表取締役社長 阿部和典

2. 基本方針と安全日標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して、輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正・忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、質疑のある時は最も安全と思われる取扱いを行います。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行います。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝えます。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦するよう努めます。

(2) 安全日標

安全日標は、次のとおりであります。目標達成に向け、安全確保を最優先事項として業務に取り組んでおります。

- ① 安全第一を旨とすること。
- ② 誠心誠意でサービス。
- ③ 明るい職場を創ること。
- ④ 健康管理に留意すること。

3. 2020 年度事故等の発生状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

2020 年度の索道運転事故はなく、今後も継続して事故防上に努めます。

(2) 災害（地震、暴風雨、豪雪等）

2020 年度の災害による運転停止は、安全確保のため強風・雷等の発生時に運転を見合わせた時間は下記のとおりです。（コロナウィルス関係の休業日数は除く）。

月山リフト 終日運休日数 2 日

延べ運休時間 29 時間 45 分（一部時間運休含む）

(3) インシデント(事故の兆候)

2020 年度のインシデントはありませんでした。今後も継続して安全への取り組みを強化し、事故防止に努めます。

(4) その他

運転事故、インシデントはありませんでしたが、7 月 1 日に停電によりリフト停止した際、予備原動機により乗車中のお客様の回収運転を実施致しました。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

社外教育として、東北索道協会等の講習に積極的に参加し、索道技術の習得及び向上に努めております。

(社外教育)

① 山形地区部会索道技術研修	2020年10月1日	1名受講
② 山形地区部会管理・監督者研修	2020年11月5日	4名受講
③ フルハネ型安全帯使用作業特別教育	2020年11月30日	1名受講
同上	2020年12月20日	1名受講
④ 山形地区部会雪上車運転講習会	2020年12月1日～2日	2名受講

(2) 緊急時対応救助訓練

毎年、非常時を想定し救助訓練を実施しております。

① 月山 ^ペ アリフト救助訓練・予備原動取扱訓練	2020年5月16日	13名参加
② 西川町民スキー場リフト救助訓練	2020年12月19日	5名参加



【①月山^ペアリフト救助訓練】



【①月山^ペアリフト予備原動訓練】



【②西川町民スキー場リフト救助訓練】



【②西川町民スキー場リフト救助訓練】

(3) 安全のための諸施策

当社では、安全確保及び設備の保全を目的に、毎年整備計画を立て実施しております。2020年度に実施した各設備の主な整備は下記のとおりです。

(月山ペアリフト)

- 3月 ①リフト制御装置の更新（主電動機交換含み）
②リフト緊張装置の更新（シリンダ、油圧ユニット）
- 9月 ③支柱フランジヒーター不良個所の交換
- 10月 ④気中開閉器交換
⑤握索機タンク不良個所交換（90台）

(西川町民スキー場リフト)

- 9月 ①高圧受電装置 PCB 混入調査及びコンデンサ入替え
- 10月 ②主電動機交換、常用制動装置解体検査、原動室カバー交換
- 12月 ③各部振動測定検査

5. 当社の安全管理体制

当社では、社長を輸送の安全確保に関する最終的な責任者として、安全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置し、役割と責任及び権限を明確にした管理体制のもと行っております。

- 社長：輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- 安全統括管理者：索道事業の輸送確保に関する業務を統括する。
- 索道技術管理者：安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- 索道技術管理員：索道技術管理者の指揮のもと、索道技術管理者の行う業務を補助する。

(安全管理体制組織図をご参照下さい)

6. ご利用の皆様へ

当社では、お客様から信頼され、安全で快適なリフトの運転を心がけ事故防止に努めておりますが、お客様の不用意な行動から事故を誘発させることがありますので、次の事項を守り係員の案内及び支持に従って下さい。

- (1) 乗降に不慣れなお客様は、係員にお申しつけ下さい。
- (2) 横向き乗車及び椅子振る行動は危険ですので、絶対しないで下さい。
- (3) 途中での飛び降りは危険ですので、絶対しないで下さい。
- (4) 万一リフトが停止したとき、係員の指示があるまでそのままお待ち下さい。

7. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見、ご要望などお気付きの点がありましたら、下記へご連絡下さいますようお願い申し上げます。

〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢 59

月山観光開発株式会社

☐Tel : 0237-74-2218 ☐fax : 0237-74-2804

☐e-mail : gassankk@atlas.plala.or.jp

☐HP : <http://www.gassankanko.jp/>

〒990-0734 山形県西村山郡西川町志津姥沢

月山ペアリフト（索道事業部）

☐Tel : 0237-75-2025

〒990-0703 山形県西村山郡西川町間沢 872-3

西川町民スキー場リフト（索道事業部）

☐Tel : 0237-74-4055

月山観光開発株式会社

安全管理体制組織図

